

研究授業報告

2年担任 君塚 惇

9月9日（月）に「温かい心で、だれとでも仲良くてできる児童」の育成を目指して、2年2組で道徳の研究授業を行いました。

授業では、親切にしようとする気持ちを考える教材として「ぐみの木と小鳥」というお話を扱いました。子どもたちは、小鳥が嵐の中、りすのもとに行こうか迷っている場面で、「行かないと、りすさんがもっと病気になってしまう。」と相手を思いやる気持ちになることに気付きました。また、小鳥が、りすとぐみの木から感謝をされる場面になると「もっと違う人を助けたくなった。」や「役に立ててよかった」など、相手のことを考えて親切を行おうとする気持ちについて考えを深めていました。学習の最後には、今までの自分自身の経験から、親切にしたことについて考えました。「落とし物を拾ってあげた」や「エレベーターで何階か声を掛けた」「泣いている子に声を掛けた」「自分のおもちゃを貸してあげた」などそれぞれの経験を思い出し、嬉しい気持ちになったり、もっと親切なことをしていこうと意欲をもったりと親切にすることのよさを一人一人が感じていました。2年生として一生懸命に授業に参加している姿は大変立派でした。今回の学びを生活の中で生かしていき、さらなる成長と活躍ができるよう今後も指導を続けていきます。

